

公募型プロポーザルに関する質問・回答

業務名：令和8年度広島市業務改善（BPR）支援業務

| No. | 質問事項 | 回答 |
|-----|---|---|
| 1 | <p>【基本仕様書 2 業務概要】</p> <p>職員の給与、福利厚生等に関する定型的な業務を中心に」とありますが、住民・事業者等外部関係者と連携しない、内部事務を対象とする理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また、現時点で市としてすでに課題を感じており、優先的に着手したい具体的な業務の候補はございますか。</p> | <p>基本仕様書に記載のとおり、職員の給与、福利厚生等に関する定型的な業務を対象とすることとしています。優先的に着手したい具体的な業務候補については現時点で確定した一覧はありません。契約締結後、ヒアリング等を通じて優先的に着手する業務を決定する予定です。</p> |
| 2 | <p>【基本仕様書 4(1)エ(ウ)】</p> <p>業務改善において Microsoft 365 (E3) や UnitBase 等の活用が推奨されていますが、総務省が示す自治体情報システムの三層の対策（いわゆる三層分離）のモデルは α、α'、β、β' のいずれを採用されていますか。</p> | <p>β' を採用しています。</p> |
| 3 | <p>【基本仕様書 4(1)エ(ウ)】</p> <p>活用が想定されている「生成 AI」「会議録作成支援システム」「電子申請システム」について、現在導入されている具体的な製品名やシステム名は何でしょうか（機能制限や連携の可否を踏まえた提案を行うため）。</p> | <p>【生成 AI】 Microsoft 365 Copilot chat</p> <p>【会議録作成支援システム】 ProVOXT（広島市仕様版、バージョン特定なし）、利用範囲：全庁</p> <p>【電子申請システム】 e-tumoAPPLY（バージョンなし）、利用範囲：全庁（ユーザ ID 申請済みの所属）</p> |
| 4 | <p>【基本仕様書 4(2)ア(ア)】</p> <p>(2) 改善の実施－ア 改善支援業務－(ア) 相談受付及び技術助言における、年12回程度・1日6時間以上の広島市本庁舎での業務について、執務スペースや使用端末等に制限はございますでしょうか。</p> | <p>執務スペース（会議室等）は市側で準備します。使用端末については原則として受託者が自社のノート PC を持参することを想定しています。詳細は受託後に協議することとなりますが、セキュリティ上の理由から、庁内ネットワークへの接続には制約がある場合があります。</p> |

| No. | 質問事項 | 回 答 |
|-----|---|--|
| 5 | <p>【基本仕様書 4(2)イ】</p> <p>(2) 改善の実施ーイ 研修業務について、集合（本庁舎内）及びオンライン（後日庁内動画配信）との記載がありますが、動画配信ではなくMicrosoftTeams等を用いたオンライン開催は想定されておりますでしょうか。</p> | <p>基本仕様書では、「集合（本庁舎内）及びオンライン（後日庁内動画配信）」と定めており、集合研修の様子を撮影した動画をMicrosoft Teams等を用いてリアルタイムで参加することも想定しています。なお、撮影動画は後日庁内で配信することを想定しています。</p> |
| 6 | <p>【基本仕様書 5】</p> <p>業務改善支援実施報告書の提出要件において「業務削減効果及びコスト検証結果については、8月末までに完了した部分について、9月中旬までに発注者と協議の上、提出すること」とあります。市として想定されている8月末の時点で完了させるべき目標件数（マイルストーン）などございますか。</p> | <p>「完了」とは、改善施策の提案（To Beフロー・削減効果算出）が完了した業務を指します。8月末時点では、優先度の高い業務から順に改善の方向性を示せる状態とすることを想定しており、特に改善効果の高い3～4件を完了させることを目標としています。</p> |